

2021 年度(令和 3 年度)学校評価自己評価表

| | | |
|--------|------|------------------|
| 鷹取中学校区 | 校番 4 | 福山市立鷹取中学校 |
| 最終更新日 | | 2021 年(令和3年)4月1日 |

I 福山市

| | |
|-------|--|
| ミッション | 福山に愛着と誇りを持ち,変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。 |
| ビジョン | 「福山100NEN教育」の基本理念のもと,各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し,日々の授業を中心として評価・改善を進めながら,子どもたちの確かな学びを実現している。 |

II 中学校区

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| 前年度学校関係者評価の主な内容 ・子どもたちが通いたくなる学校環境づくりを進めて欲しい。 ・気持ちのよいあいさつができていないと感じている。登校支援をしている方や地域でお世話になっている方には,あいさつができるよう指導して欲しい。 | 児童生徒の現状 ・基礎学力はおおむねついている。 ・地域であいさつができない子どもが増えているのが課題である。 ・長欠・不登校の児童生徒を減らすことが課題である。 ・授業づくりや専門性を高めるために時間の確保が課題である。 | 育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 課題発見・解決力 主体性 | めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 気づき 考え 行動する 子ども | 中学校区として統一した取組等 ・課題発見・解決学習 ・ESDをふまえたふるさと学習 ・授業づくりにあてる時間の確保 |
|---|---|---|---|--|

III 自校

| | | | |
|--|------------------------------------|--|--|
| ミッション 霞小・光小と連携して「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成を図ることを通して,地域に誇れる学校を創造する。 | 育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) 知識・技能 | 課題発見・解決力 | 主体性 |
| 学校教育目標 主体的に学び,未来を創造できる生徒の育成 | めざす子ども像 | 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 | 問いを見だし,その解決にむけて仮説を立てたり,結果を予測しながら実行したり,調査して得た情報を元に自分の考えを形成・表現したりするとともに,仲間と互いの考えを伝え合うことで多様な考えを理解したり,集団としての考えを形成したりすることなどをとおして課題解決したことを,次の課題発見・解決につなげていくことができる。 |
| 現 状 <生徒> 〇コロナ禍で一昨年度までしていた,縦割りの思考ツール集会等を実施できなかったために,生徒は他者に自分の考えを上手く伝えるためには筋道を立てて根拠を示しながら説明することが必要であることを意識はしているが,実際に全校集会等で自信を持って説明出来る生徒は学年により差がある。授業だけでなく日常生活でも自分の考えをしっかりと伝える場の設定が必要である。 <授業> 〇各教科課題発見・解決学習を目指し,授業づくりをしているが,それが目的となっている授業も時にあり,再度,何のための課題発見・解決学習かを問いなおす必要がある。課題の設定や筋道を立てた振り返り,思考ツールの活用等の取組一つ一つについて,生徒と教員が意味や目的を十分に理解して実施できるよう取り組みを進めるとともに,生徒が教科に対する興味関心を損なわず,教科本来の意味や面白さを理解し,自ら進んで探求していけるような授業を日常的に実施できるよう目指す。 | 研究 テーマ 内容等 | 主体的に問い続ける生徒の育成 思考ツールを活用し考えたことを表現できる力の育成 | |
| | めざす授業の姿 | <ul style="list-style-type: none"> 考える仕掛けのある授業 多様な自己表現の場がある授業 学びの価値が感じられる授業 | <ul style="list-style-type: none"> 分かる・できたを感じる授業 学びが面白いと感じる授業 もっと知りたいと感じる授業 |

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立鷹取中学校

| 年目 | 中期経営目標 | 重点 | 分類 | 短期経営目標 | 目標達成に向けた取組 | 評価指標 | 中間評価(10月1日) | | | | 最終評価(2月末) | | | |
|----|----------------------------------|----|-----|---|--|---------------------------------|-------------|---------|------|------|------------|---------|------|------|
| | | | | | | | □指標に係る取組状況 | 70%以上評価 | 達成評価 | 改善方策 | □指標に係る取組状況 | 70%以上評価 | 達成評価 | 総合評価 |
| 2 | 主体的に学ぶ力の育成 | ★ | 見直し | <ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学習に取り組んでいる生徒(80%以上) 自らの学習を振り返り課題ややってみたいことを見つけないことが出来る生徒(80%以上) 自分の学校・学級が好きな生徒(80%以上) 友だちとかかわって運動することが好きな生徒(90%以上) | <p>【校区共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発見・解決学習の合同研究授業 学力調査や体カテストの分析 <p>【本校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鷹取中学校探究スタイルを学校の教育活動全体を通して計画・実施する。 縦割り集団で活動する場を設定し、リーダーを中心に生徒主体の行事づくりを進める。 | 学力調査 新体カテスト 生徒アンケート | | | | | | | | |
| 3 | 地域を愛する心の育成 (SDGs: 住み続けられるまちづくりを) | | 見直し | <ul style="list-style-type: none"> 自分の地域が好きな生徒(90%以上) 気持ちのよいあいさつができる生徒(80%以上) | <p>【校区共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ESDを踏まえたふるさと学習カリキュラムの実施 <p>【本校】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsを通して地域を見つめ、よりよい街づくりを提案する。 下校時の生徒による挨拶運動を推進する。 | 生徒アンケート 保護者アンケート 来校者アンケート | | | | | | | | |
| 3 | 学校組織力の向上 | | 継続 | <ul style="list-style-type: none"> 時間を意識して働く教職員(80%以上) | <p>【校区共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTの活用 校務補助員等の活用の工夫 <p>【本校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉退校日は全員が退校できるように声掛けをする。 | 100NEN教育アンケート 教職員アンケート | | | | | | | | |

| [プロセス評価の評価基準] | | [達成評価の評価基準] | | [総合評価の評価基準] | | |
|---------------|--|-------------|------------------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | |
| 5 | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。 | 5 | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。 | 5 | 100%以上の達成度 | 十分に目標を達成できた。 |
| 4 | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。 | 4 | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。 | 4 | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。 |
| 3 | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 | 3 | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。 | 3 | 60%以上80%未満の達成度 | ある程度目標を達成できた。 |
| 2 | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。 | 2 | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。 | 2 | 40%以上60%未満の達成度 | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1 | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。 | 1 | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 | 1 | 40%未満の達成度 | 目標を達成できなかった。 |